

福県医発第 1492 号 (地)

平成17年11月18日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師
会 長 竹 嶋 康



環境省主催「第8回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」
のご案内について

標記の件につきまして、日本医師会より別添のとおり通知がありましたので、ご参考までにお送りいたします。

本事業は、平成10年より環境省の主催で毎年開催され、世界第一線の研究者により、高度な議論が活発に展開され、国内外より非常に高い評価をうけているものであります。

つきましては、貴会におかれましても本県についてご了知いただき、貴会関係者への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



(地Ⅱ133)

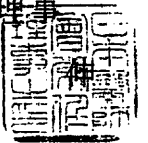
平成17年11月10日

都道府県医師会

環境保健担当理事 殿

日本医師会常任理事

藤 村



環境省主催「第8回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」
の周知について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、環境省より本会に対し別添のとおり「第8回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」について都道府県医師会への周知の依頼がありましたので、お知らせいたします。

本事業は、平成10年より環境省の主催で毎年開催され、世界第一線の研究者により、高度な議論が活発に展開され、国内外より非常に高い評価を受けているものです。また、環境省では、本年3月に公表した「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について－ExTEND2005－」に基づき多方面な取組を進めております。

貴職におかれましては、本件に関しご了解いただくとともに、関係各位への周知方よろしくお願い申し上げます。





環保安発第 051019001号

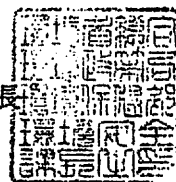
平成17年10月19日



(社) 日本医師会会長 殿

環境省総合環境政策局

環境保健部環境安全課長



第8回「化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」
について (周知依頼)

環境保健行政の推進につきましては、日頃より格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

化学物質の内分泌かく乱作用に関して、環境省においては、本年3月に「環境ホルモン戦略計画 SPPEED' 98」を改訂した新しい取組指針として「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について-ExTEND2005-」を公表し

(<http://www.env.go.jp/chemi/end/extend2005/index.html>)、本年度からは、このExTEND2005に基づき多面的な取組を進めています。

さて、化学物質の内分泌かく乱作用問題について、国内外の専門家が一同に会して意見交換する場であるとともに、社会的関心の高い本問題について一般に広く情報を提供する場として活用頂いております標記国際シンポジウムを、本年は、沖縄県において開催することとしております(平成10年からこれまで、京都市、神戸市、横浜市、つくば市、広島市、仙台市、名古屋市において開催)。

今回の一般向けプログラムでは、「今、自然界で何が起きているのか?～内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくか～」をテーマにパネルディスカッションを行います。ExTEND2005における基本的な取組の柱として掲げております「野生生物の観察」に関連し、野生生物にどのような変化が起きているのか、人間活動は生態系にどのような影響を与えているのかといったことを中心に議論を行い、提言をまとめていく予定であり、内分泌かく乱作用の観点を含めた総合的な化学物質対策理解の一助となるような企画となっております。

つきましては、同封のチラシおよびポスターを周知していただくとともに、この第8回国際シンポジウムを有意義にご活用下さいますようお願い申し上げます。

1 開催日 平成17年12月4日(日):一般向けプログラム

12月5日(月):専門家向けプログラム

12月6日(火):専門家向けプログラム

2 会場 4日(日) 沖縄ハーバービューホテル(沖縄県那覇市泉崎2-46)

5日(月)～6日(火) 沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)

連絡先: 環境省 環境保健部 環境安全課 (担当: 入江、奥崎)

100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL: 03-3581-3351(内線6352)

FAX: 03-3580-3596

E-mail: FUMI_IRIE@env.go.jp

HIROAKI_OKUZAKI@env.go.jp

参加費無料

第8回

化学物質の内分泌かく乱作用

(いわゆる環境ホルモン作用)

に関する国際シンポジウム

一般向けプログラム ▶ 2005年12月4日(日)14:00~16:00 ▶ 沖縄ハーバービューホテル

専門家向けプログラム ▶ 2005年12月5日(月)6日(火)終日 ▶ 沖縄コンベンションセンター

■主催 環境省

■後援 沖縄県、沖縄県教育委員会、那覇市、宜野湾市、本部町

International Symposium on Endocrine Disruption 2005

このシンポジウムは、環境省が、化学物質の内分泌かく乱作用(いわゆる環境ホルモン作用)問題に関して、市民の皆さまと情報を共有するために、毎年開催しているものです。

今回は、「今、自然界で何が起こっているのか? ~ 内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくのか? ~」というテーマでパネルディスカッションを行います。多くの県民・市民の皆さまにお集まりいただき、パネルディスカッションを通じて、この問題について理解を深めていただくことを目指しています。

また、12月5日・6日には、国内外の専門家にお集まりいただき、最先端の研究・取組について議論していただきます。



▼ 開会挨拶 14:00-14:30

▼ パネルディスカッション 14:30-16:00

「今、自然界で何が起こっているのか?

~ 内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくか? ~」

コーディネーター



北野 大
淑徳大学

パネリスト



井口 泰泉
自然科学
研究機構



崎田 裕子
ジャーナリスト・
環境カウンセラー



須之部友基
千葉県立
中央博物館



中山エミリ
タレント



安間 繁樹
農学博士

第8回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム

(いわゆる環境ホルモン作用)

沖縄ハーバービューホテル

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2-46 TEL: 098-853-2111
http://www.harborview.co.jp/

2005年12月4日(日)

14:00 ~ 16:00

▶アクセスはホームページでもご覧いただけます。

12月4日当日は、那覇マラソンのため交通規制が行われますので、ご注意ください。

- モノレール
バス
タクシー
- ・ゆいレール壺川駅より徒歩約8分
 - ・国内線旅客ターミナルビル前より約15分、
「旭橋」(那覇バスターミナル内)下車、徒歩約10分
 - ・那覇空港より約10分
徒歩での道順



参加申込み

参加を希望する方は、氏名、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、インターネットかFAX、もしくはハガキで下記事務局宛にお申込みください。

11月下旬以降に参加登録証を発送いたします。

【参加申込方法】

インターネットからの申込み

シンポジウムのホームページから、直接お申込みください。

<http://www.congre.co.jp/eed05/>

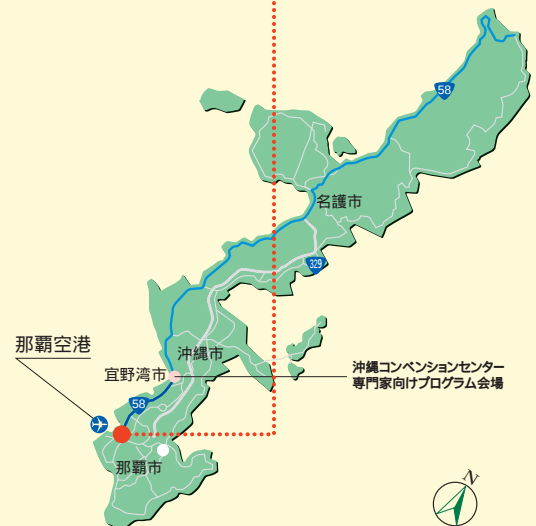
FAX、はがきでの申込み

氏名、住所、電話、FAX番号、参加希望日を明記の上、下記運営事務局(株式会社コングレ内)宛にお申込みください。

参加費は無料です。

参加申込み締め切り: 平成17年11月18日(金)

(申込み多数の場合は、先着順となります。)



参加申込み・お問合せ先

「化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」事務局

〒102-8481

東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル6F(株)コングレ内
TEL: 03-3263-5394 FAX: 03-5216-5552

E-mail: eed05@congre.co.jp

シンポジウムの内容に関するお問合せ

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課

〒100-8975

東京都千代田区霞が関 1-2-2

TEL: 03-3581-3351(内線6354) FAX: 03-3580-3596

E-mail: eri_muto@env.go.jp

▼ 専門家向けセッションプログラム紹介

会場が異なりますのでご注意ください。

沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 TEL: 098-898-3000

<http://www.oki-conven.jp/>

12/5 (月)	午前	・セッション1 疫学研究における問題
	午後	・セッション2 リスクコミュニケーション: 現状と課題 ・セッション3 群集レベルまたは生態系 レベルでの人間影響評価

12/6 (火)	午前	・セッション4 内分泌かく乱作用解明の 新たな切り口
	午後	・セッション5 内分泌かく乱作用に関する 試験法開発 ・セッション6 化学物質のリスク評価に 関する最近の動向